



なんで私たちがニューヨークに行くかといえば、やはり本場ブロードウェイのミュージカルを楽しむためだといってもいいでしょう。

今月はミュージカルを120パーセント楽しむための情報源をお教えしましょう。これであなたもニュー Yorkerの仲間入り?!

LIFE WITH INTERNET

ミュージカルの達人 愚留目 都亜

【ニューヨークで本場のミュージカルを見るぞっ!】

毎年5月末が近づくと心が躍り出します。その理由は「Tony Awards」、つまりトニー賞の発表があるからです。これは、ニューヨークのブロードウェイにあるオン・ブロードウェイの劇場で上演されたミュージカルとプレイ(劇)の1年間の総決算の場です。今年は「サンセット大通り」に出演しているグレン・クロースをホストの一人に迎え6月4日に開催されます。なお、ノミネートの発表は5月8日です。

ブロードウェイ劇場街になかったり、規模が小さい劇場はトニー賞の対象になりません。しかし、そういったオフ・ブロードウェイの劇場の作品にはオビー賞があります。こちらは5月22日に決まります。さらに、ロンドンにもこういった賞があります。ローレンス・オリヴィエ賞というのがそれで、4月2日に開催され、ベストミュージカルには「Once on This Island」が選ばれました。日本でいうところの、西田ひかるが出演する「楽園伝説」です。去年までは、この3つの賞が出せようと、ニューヨークとロンドンへの旅行の日程を決めていました。

先月号で「グリース」を見たと報告しましたが、実はニューヨークで「サンセット大通り」も見ました。おおかたのトニー賞の

予想では、これが今年のベストミュージカルとなっています。その背景には、去年あたりから新作ミュージカルの数自体が減少傾向で、人気の確実な過去のヒット作品のリバイバルだらけという理由があります。もちろん、「サンセット大通り」はベストミュージカルを獲得するに足る実力を持っていますが、対抗馬がもっとたくさん欲しいところです。ノミネートは各部門4つとなっていますが、今年はこの4つすら選ばないかもしれません。ベストリバイバルのほうは、十分なノミネートが行われるでしょうけど。

前置きが長くなりましたが、今回はブロードウェイのミュージカル情報です。まだミュージカルを見たことがないあなた!一度見に行ってみませんか?

よし、行こう。と思った人のためにチケットの買い方をお教えしましょう。見たいミュージカルが特に決まっていなくても現地で行列に並ぶ時間のある人は、「tkts」で半額券を買うという、ほとんどのガイドブックに書いてある方法がいいでしょう。そうじゃない人は、日本で予約することになります。私たち夫婦は、とにかく確実に席を確保するために、クレジットカード会社のアシスタンスサービスを使って日本で

予約しておきます。ちなみに、最近利用している会社は1席あたり1000円です。現地の出先機関がチケット会社に予約を入れるので、チケットは当日劇場の窓口で受け取ることになります(英語に自信がある人は、直接電話すれば手数料はいりません)。

日本でチケット手配を行っている会社に依頼すると、ほとんどの場合、50%程度の手数料とともにチケット代金をあらかじめ日本で払っておき、予約確認書をもらいます。それを現地でチケットに換えるわけですが、劇場の窓口で確認書を出すのは格好よくないし、60ドルのチケットだと3000円弱が手数料となり大変高価です。

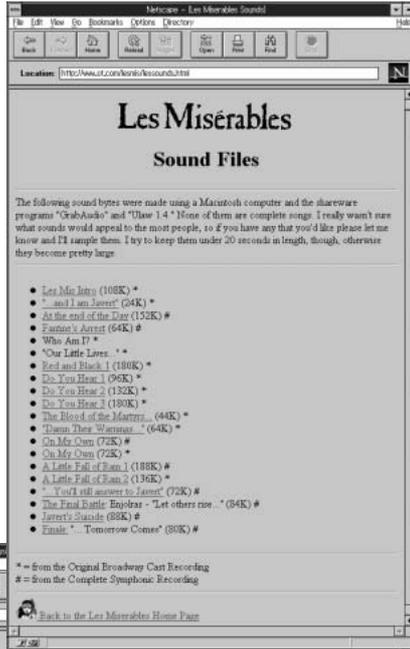
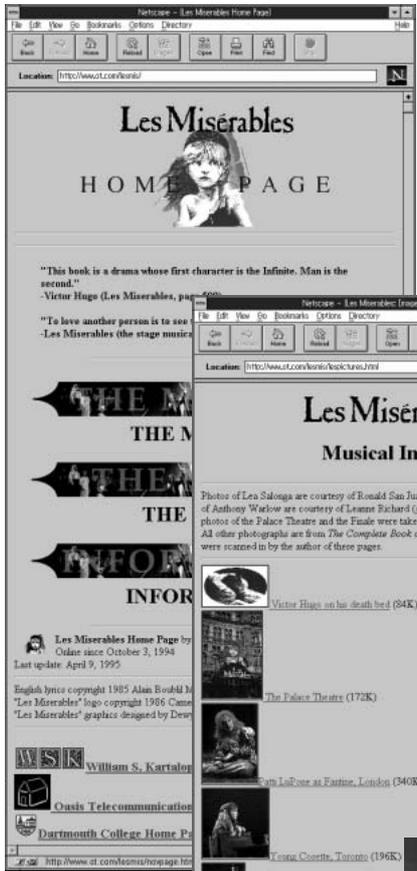
劇場で通用するクレジットカードのアシスタンスサービスを利用すれば、当日窓口で「Hi!」とあいながらカードを見せるだけでチケットがもらえるので、私たち夫婦はもっぱらこれを利用しています。

なお、満席でこの方法では席が取れないときは、ニューヨークのチケットブローカーに直接ファックスで依頼します。ニューヨーク市公認の正式なブローカーなら、手数料も決められているので安心です。日本のチケット手配会社並の手数料で、超人気チケットが手に入ることもあります。

名作レ・ミゼラブルとオペラ座の怪人

<http://www.of.com/lesmis/>
<http://paul.spu.edu/phantom/>

① これが「レ・ミゼラブル」のホームページ。ミュージカル版の話の要約、歌詞、.au形式のサウンドファイル、gif形式のイメージファイルなどの入った「THE MUSICAL」という項目と、文学作品版の話の全文（Gutenberg Projectによる）、原作者であるVictor Hugoの作品の紹介などの入った「THE NOVEL」という項目と、ファンクラブやFAQの入った「INFORMATION」という項目がある。



② ホームページの「THE MUSICAL」からたどり着いたのが、ミュージカルの舞台写真が約20枚ほど表示されているこのページである。ミス・サイゴンで有名になったLea Salonga（リー・サルオンガ）の写真もある。フィナーレの写真をクリックすると、下に示したようにその写真が表示された。



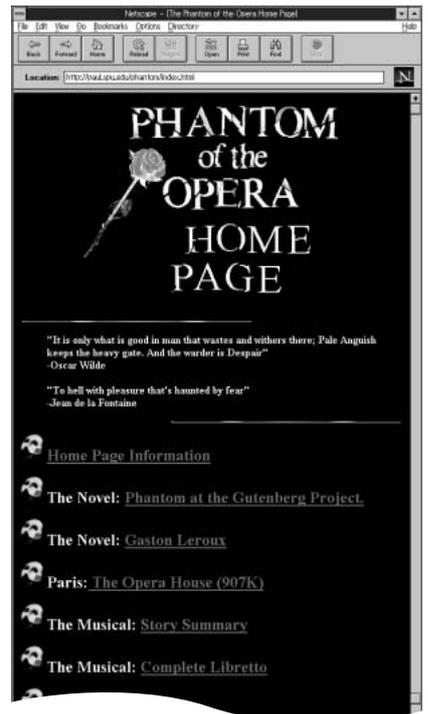
ミュージカルを見に行くときに、あらかじめ話のあらすじや出演者をチェックしておく、当日の観劇が有意義になります。これは、英語が母国語ではない私たち夫婦にとって、足りない語学力を補う一手段ともなっています。

さて、1つの作品を愛するミュージカル好きはどこにでもいるようで、その作品のことならなんでもOKというWWWサーバーがいくつかあります。このようなサーバーを利用して情報を得るというのも1つの方法だと思えます。

ここでは、「レ・ミゼラブル」のWWWサーバーを紹介します。ほかにもいくつかありますが、「Phantom of the Opera」のホームページも紹介しておきます。

③ ホームページの「THE MUSICAL」から次にたどり着いたのが、このサウンドファイルを集めたページである。それぞれ、数秒から十数秒のサウンドを聴くことができる。

④ これは「Phantom of the Opera（オペラ座の怪人）」のホームページ。レ・ミゼラブルに刺激されて始めたらしく、ページの構成や内容が似ている。



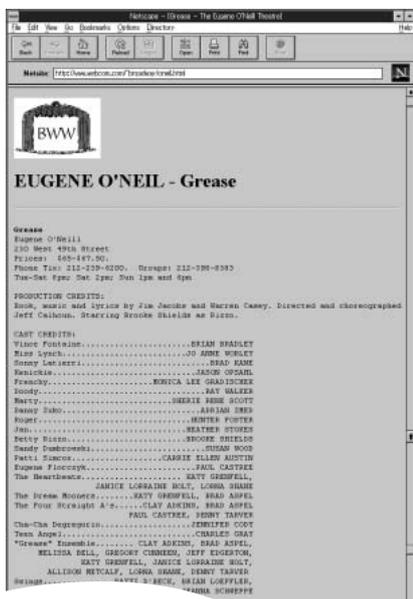
ミュージカルのカタログ「Playbill Online」

http://www.webcom.com/~broadway/



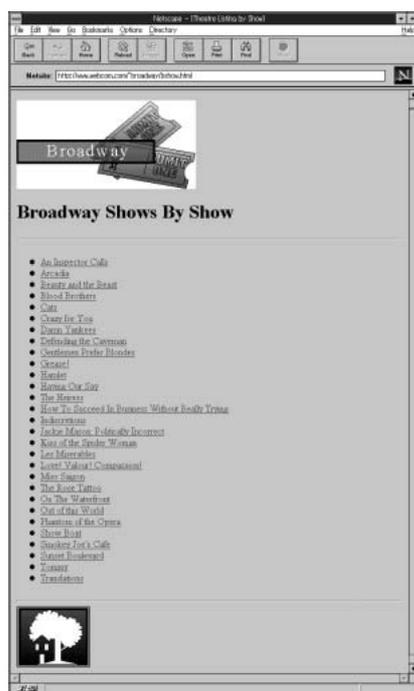
① これが「PLAYBILL ON-LINE」のホームページ。ページ中に表示される図の中に、11個の項目が並んでいる。ニューヨーク以外の劇場情報（「Regional」）とロンドンの情報（「London」）は、現在作成中とのことだが、他の項目はOK。「Extra! Extra!」には重要な情報、すなわち一面記事が入っている。

② ホームページで「Broadway」を選択し、さらにその後ショーの名前のリストを表示させると、このページとなる。ショーの名前によるリストのほかに、劇場の名前によるリストがある。



ブロードウェイの劇場には、観客を座席へ案内する案内係の人がたくさんいます。劇場入り口でチケットを出してから自分の席に着くまでの間に、大きい劇場では途中4人の案内係を経由することもあります。そして最後に座席まで案内してくれる係の人が、「Enjoy!」といいながら小さな雑誌のようなものを手渡してくれます。これが「PLAYBILL（プレイビル）」です。

プレイビルには、キャスト、ミュージカルナンバー、スタッフ、キャストの略歴などが書かれています。要はプログラムですね。このプレイビルはPlaybill Inc.という会社が一手に作成しているものです。このPlaybill Inc.が、プレイビルに載せる情報のうちキャストの略歴に関するもの以外の情



③ このページで「Grease!」を選択した時に表示されたページ。キャストの欄の11番目のRizzo役のところに、ブルック・シールズの名前がある。

報をそのままWWWサーバーで提供しているのが、ここで紹介する「PLAYBILL ON-LINE」です。

④ このページで「Sunset Boulevard」を選択すると、このページが表示された。上演日時、キャスト、曲目一覧、スタッフ名などの情報が表示される。





5 ホームページの「Off-Broadway」からたどり着くのが、このページ。有名な「The Fantasticks」、「Blue Man Group」などの名前も見られる。

6 このページから、私たち夫婦のお気に入りの「Stomp」を選んで表示されたページ。上演場所、日時のほかに、チケットの予約先電話番号も出ている。

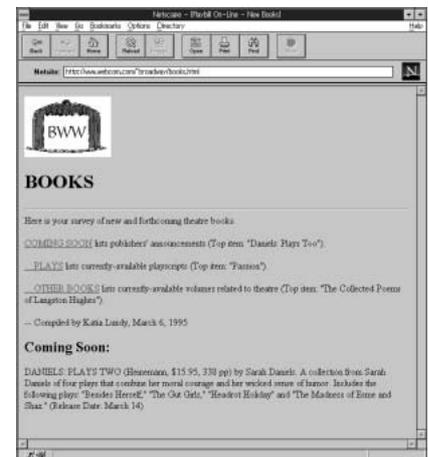


7 ホームページで「Features」を選ぶと、いくつか記事の題名が表示される。その中にあるのが、このクイズである。



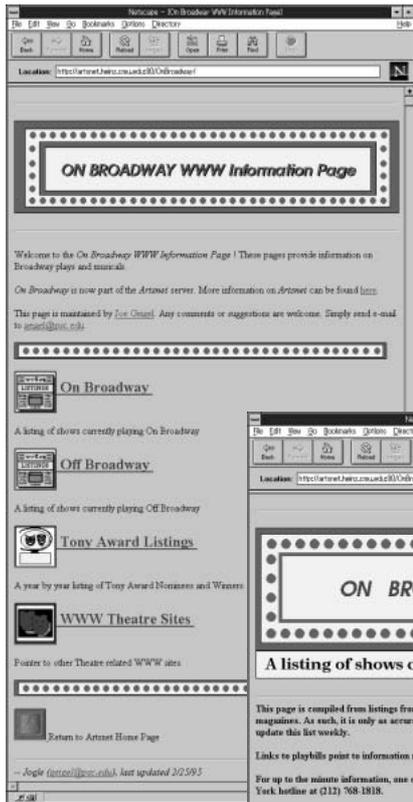
8 ホームページで「Recordings」を選ぶと、このページが表示される。ここでは、ブロードウェイショーのカセット、CD、ビデオに関する情報がある。ここをチェックして、ぜひ新譜情報もバッチリ。

9 ホームページで「Books」を選んで表示されるのがこのページ。「Recordings」のページと同様に、新作あるいは発売予定のブロードウェイに関する本や台本の情報が提供されている。



ミュージカル関連データの宝庫

<http://artsnet.heinz.cmu.edu/OnBroadway/>

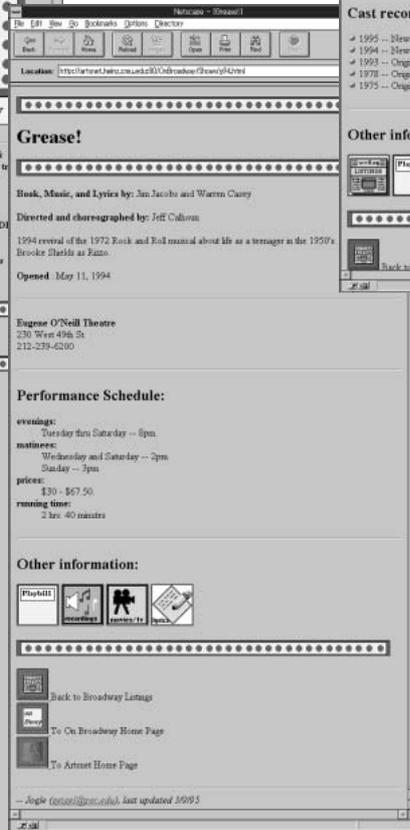
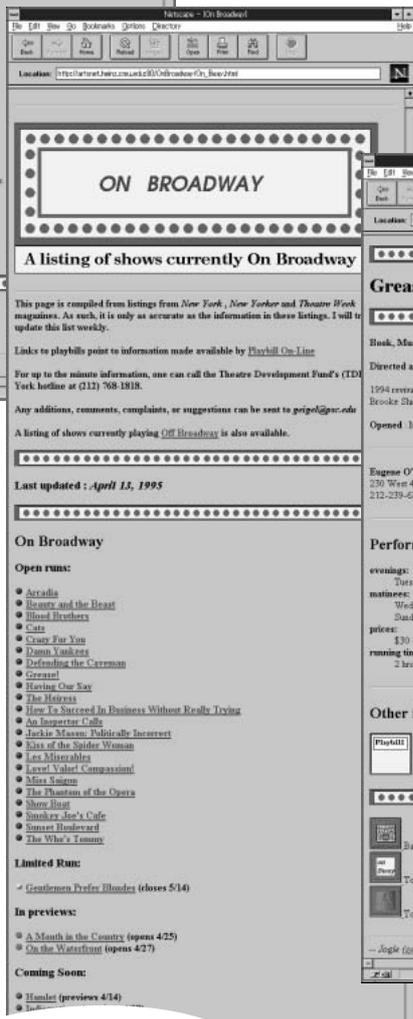


① これがホームページ。オン・ブロードウェイ、オフ・ブロードウェイ、トニー賞のリストや、劇場に関する情報を持っている他のWWWサーバーへのリンクが用意されている。

② ホームページで「On Broadway」を選択すると、このページとなる。これらの情報は、ニューヨークの地域情報雑誌である「New York」、'Theater Week Magazine」などを参考にして作られている。

つぎで紹介するのは、「ON BROADWAY WWW Information Page」です。これは、個人がサービスしているページですが、けっこう力を入れているらしく、情報量も豊富です。上演中の舞台に関する情報は、前に紹介したPLAYBILL ON-LINEには負けません。トニー賞の情報や、録音物、映画などの情報については一目置くものがあります。トニー賞に関しては、1947年から今ま

③ で「Grease!」を選択すると、このページが表示された。注目は、「Other Information」のところである。ここでは、「recordings」、「movies/tv」などが表示されている。



④ これらのページを見ることで、レコード、CDなどの録音物や映画の情報を得られる。なお映画に関しては、映画に関する他のWWWサーバーからの情報を使っている。

でのすべての受賞者がリストされています。さらに1970年からの25年分については、ノミネートされた人もリストされています。

上演中の演目に関しては、カセット、レコード、CD、映画、ビデオ、本などの情報もすぐに見られます。ブロードウェイに行く前に、CDやビデオを買って一度聴いて(見て)おくというのもよいでしょう。あるいは、ニューヨークで観劇の後にCDやビデオを買うときの参考にもなります。そうそう、ミュージカルの劇場内では、よくオリジナルキャストレコーディングのCDを売っていますが、たいていの場合、街で買うより安いですよ。



最新ニューヨーク情報はココだ!

http://www.mediabridge.com/my/

ブロードウェイのミュージカルといえば、もちろんニューヨークですね。というわけで、ニューヨークに関するWWWサーバーを1つ紹介します。それは、ニューヨークにあるMedia-bridge Inforsystems, Inc.が提供している「The Paperless Guide to NEW YORK CITY」です。私がこれまでに見た1つの都市の観光情報を集めたWWWサーバーの中では、このサーバーが一番情報量が豊富で、本格的なものです。ニューヨークに行くときは、今回紹介したWWWサーバーの情報と、あとはZagatのRestaurant Surveysの本があれば完璧です。



① これがホームページ。「HOW」、「WOW」、「NOW」の3つの大項目に分類された、合計15の項目名が表示される。「HOW」の中の「Navigator」では、Avenueアドレスを入力するとその場所がどのStreetの近くにあるかを教えてくれる、Street Locatorという機能も用意されている。

② ホームページで「WOW」の中の「Food & Dining」を選択すると、このページが表示される。ここから、イタリア料理や中華料理といった料理の種類別のリストへ移ったり、マンハッタンを10地域程度に細分化したリストへ移れる。また、「City Dining Tips」として、おいしいレストランの見つけ方、Bagelsのこと、チップの考え方などのページも用意されている。



The New Year's Eve 2000 in Times Square contest is launched! How to celebrate the millennium. T-shirts are given away bi-weekly to winners.

Thanks for Visiting New York City!

A contrast between its humble beginnings as a shipping port, modern role in commerce, New York City offers a mosaic society's progression from the 18th century to the present is renowned for its diverse culture, landmark architecture firmly establishing itself as one of the greatest cities in the world.

This Paperless Guide (TM) provides a resource for visitors alike to capture the essence of the metropolis through cyberspace.

Disclaimer: As of this writing, this resource is highly accurate. However, it is not a substitute for professional advice.

We would like to acknowledge the contributions of people who have helped to make this resource possible.



Media-bridge Inforsystems, Inc., a New York State corporation, is dedicated to providing a means for promoting commerce in New York City through electronic publishing, interactive media, and networking. Media-bridge offers the city's offerings to its denizens and visitors.

Click here for more information on Media-bridge Inforsystems, Inc.

Copyright ©1994, Media-bridge Inforsystems, Inc. All Rights Reserved.

Please feel free to mail suggestions and contributions to the author! info@mediabridge.com

③ ホームページで「HOW」の中の「Transportation」を選択して表示されるのがこのページである。地下鉄、バス、タクシー、空港、フェリー、橋やトンネルなど、乗り物、移動に関する各種項目名が表示される。見たい項目を選んでマウスでクリックすれば、詳しい情報が表示される。



The annual and complex geographical layout of New York City's mass transit system provides transportation solutions to its denizens and visitors.

Ground Transportation

(Subways) (Bus) (Taxi Cabs) (Automobiles)

Air Transportation

(Airports) (Helicopters)

Water Transportation

- The Staten Island Ferry
- The Roosevelt Island Tramway
- Harbors to Walk

Bridge/Tunnel Crossings

- Ordered from Northmost to Southmost
- Queens Midtown Tunnel
- Manhattan Bridge
- Brooklyn Bridge
- Queensborough Bridge (aka 59th Street)
- Queens Midtown Tunnel
- Triborough Bridge
- Brooklyn Battery Tunnel
- Holland Tunnel
- Lincoln Tunnel
- Throgs Neck Bridge
- East River

Agencies and Authorities

- The Port Authority Bus Terminal
- The George Washington Bridge Bus Terminal



New York City Subway System

Introduction

The New York City subway system is one of the most efficient people transport systems in the world. The hot and doggy subway system of the 1970s has been completely redesigned and comfortable mode of transportation between nearly all areas of the city. The subway system is used by over 1 billion people a year. While many rail and bus systems are used, the subway is a much better place to go in the financially troubled days of the city.

Fare Tokens and Cards

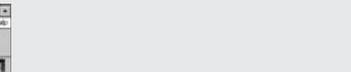
Tokens are the primary method of payment, and cost \$1.25 each. New map-type tokens are used in many high-traffic stations across the city. These fare cards will be slowly phased out by the system, Long Island Railroad and Metro-North Railroad.

Manhattan Subway Maps

Copyright © 1994, New York City Transit Authority. The following maps are written permission of the Metropolitan Transit Authority. We ask that you not reproduce these for any purpose other than for your own personal use. Also, note that full color subway and bus maps are available for free at any subway token booth.

- Interactive Graphical Pictor (50 kb) If you are using an ISMAP capable WWW browser, you can bring up a full map of the Manhattan subway system and click on an area of interest for a zoomed image.
- Downtown Manhattan (69 kb) The area south of 140th Street, Greenwich Village, East Village, Soho, Tribeca, Chelsea, and the Financial District.
- Midtown Manhattan (36 kb) The area between 59th Street and 140th Street: Midtown, Chelsea, and Hell's Kitchen. Notable locations: Penn Station, Grand Central Station, Rockefeller Center, Park Ave., Madison Ave., Madison Square Garden, and the United Nations.
- Upper Manhattan (97 kb)

④⑤のページで「Ground Transportation」の「Subways」を選択して表示されたのがこのページである。ここには地下鉄に関する短い紹介文、料金に関する情報、gifフォーマットによる路線図へのリンクなどがある。



Paperless Guide to New York City

Introduction

The New York City subway system is one of the most efficient people transport systems in the world. The hot and doggy subway system of the 1970s has been completely redesigned and comfortable mode of transportation between nearly all areas of the city. The subway system is used by over 1 billion people a year. While many rail and bus systems are used, the subway is a much better place to go in the financially troubled days of the city.

Fare Tokens and Cards

Tokens are the primary method of payment, and cost \$1.25 each. New map-type tokens are used in many high-traffic stations across the city. These fare cards will be slowly phased out by the system, Long Island Railroad and Metro-North Railroad.

Manhattan Subway Maps

Copyright © 1994, New York City Transit Authority. The following maps are written permission of the Metropolitan Transit Authority. We ask that you not reproduce these for any purpose other than for your own personal use. Also, note that full color subway and bus maps are available for free at any subway token booth.

- Interactive Graphical Pictor (50 kb) If you are using an ISMAP capable WWW browser, you can bring up a full map of the Manhattan subway system and click on an area of interest for a zoomed image.
- Downtown Manhattan (69 kb) The area south of 140th Street, Greenwich Village, East Village, Soho, Tribeca, Chelsea, and the Financial District.
- Midtown Manhattan (36 kb) The area between 59th Street and 140th Street: Midtown, Chelsea, and Hell's Kitchen. Notable locations: Penn Station, Grand Central Station, Rockefeller Center, Park Ave., Madison Ave., Madison Square Garden, and the United Nations.
- Upper Manhattan (97 kb)

⑤⑥のページで「Midtown Manhattan」を選択して出てきたのがこの路線図である。この路線図はNew York市の交通局が発行している地下鉄路線図そのもので、交通局から正式に許可をもらったうえでスキャンして読み込んでいるとのこと。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp